10月8日

安田火災記念財団ニュース

編集発行：安田火災記念財団　〒160東京都新宿区西新宿1-26-1 Tel 03-3349-3550
（担当：熊野）

《1》　社会福祉助成選考開始

当財団では、一般公募をしている社会福祉助成（一般助成、ボランティア活動助成）の選考がはじまりました。本年度は、応募件数252件、申請額１億７千万円と過去最高となりました。10月14日の選考委員会にて最終決定が下されますが、本年度は、一般助成3,500万円、ボランティア活動助成500万円の予定です。なお、台風による豪雨の被害が大きかった鹿児島県の申請案件については、最優先で助成することになり、10月１日、鹿児島県社会福祉協議会に於いて助成金贈呈式が行われました。

《2》　ベトナム問題講演会開催

９月13日、大手町フィナンシャルセンター（安田火災富士銀行共同ビル）22階会議室において、ベトナムの政治改革と投資関係法の現状についての講演会が行われ、安田火災関係者を含む70名が出席しました。講師には、グエン・ズイ・クイ氏（ベトナム社会科学院総裁・共産党中央委員会学術局副局長）とダオ・チ・ウック氏（ベトナム国家と法研究所所長）をお招きし、ベトナム語の通訳を日本在住のトラン・ゴック・フック氏にお願いしました。折しもアメリカでは、ベトナムへの経済制裁を解除しようとする動きがあり、非常に時宜を得た企画である、と好評でした。当日の講演録は、名古屋大学 鮎京正訓教授の解説を加え、当財団叢書No.42として刊行されます。

《3》　『募取法コンメンタール』刊行記念パーティー開催

鴻常夫 東京大学名誉教授監修の当財団叢書『保険募集の取締に関する法律コンメンタール』の刊行記念パーティーが、８月31日、大手町フィナンシャルセンター24階サンフラワーホールにて行なわれました。主査の鴻先生をはじめとする「募取法」研究会出席者（学界、官界、安田生命、安田火災より）、安田火災関係者、出版・報道関係者、当財団関係者ら50名が出席し、盛況のうちに閉会となりました。なお、『保険募集の取締に関する法律コンメンタール』は各方面から大変好評をいただいており、増刷が決定しました。

《4》　助成決定

10月現在で、以下の案件の助成が決定しています。

①　学術研究助成（福祉諸科学事業）

◆「アジア盲人図書館調査研究」

社会福祉法人　日本点字図書館　　200万円

日本点字図書館では、平成５年から６年にかけて、盲人文化向上にむけて同図書館がどのような国際援助をするべきか検討するための調査を行います。対象は、アジア経済社会委員会の加盟国・準加盟国から選んだ１７カ国の図書館で、調査終了後は、ノウハウ提供等の国際的な交流が期待されます。

◆「保険法制を含む現代ベトナム法および政治について」

名古屋大学教授　鮎京正訓　　100万円

現在、国内外ともに注目されているこのテーマについて、担当者から直接情報を収集するというプロジェクトです。名古屋大学で講演会・シンポジウム・講義、名古屋国際法律協会および経済団体連合会で講演会が開催され、前記、当財団主催の講演会もその一環として行われました。

②　会議会合等費用助成（社会福祉事業）

◆第２回全国ボランティアフェスティバル

社会福祉法人　福井県社会福祉協議会　　30万円

９月25・26日、「やさしい温もりのあるふるさと創造」をテーマに、第２回全国ボランティアフェスティバルが福井県で開催されました。とくに国際シンポジウム・活動交流会には国内外の専門家が多数出席し、ボランティア活動の一層の充実にむけて有意義な意見交換が行われました。

《5》　刊行物のお知らせ

以下のものが刊行されています。

①　『保険業法コンメンタール』第５巻

鴻常夫 東京大学名誉教授監修の当財団叢書シリーズ『保険業法コンメンタール』の第５巻が、第４巻の刊行から１年を経て刊行されました（以下続刊）。第５巻の内容は、保険業法第５章「会社ノ管理」第92～107条の逐条解説です。

以上